

ユウタとコハル

画:ゴハチ



暮らしの中の千夜一話

やわらかな春の陽ざしがそぐ縁側に「ホーホケキョ」が響くと、冬の間にちらこまっていた心がふわりと浮き立った。「ウグイスの声は日本人の魂にすり込まれた春告げ歌ですね」。隣でりゅうちょうな日本語を話すのは、我が家でホームステイをしているエルダー君だ。18歳の彼は、陶芸を学ぶためにアフリカのウガンダからやってきた。彼の文学的な物言いは研究者であるご両親の影響だろう。

「早苗さん、ウグイスの姿を見たことはありますか?」「声は聞いたことあるけど姿はないわね」私の答えにエルダー君は「そうでしょう」と満足そうに微笑み、ウグイスの生態について語り始めた。

「彼らはとても警戒心が強く、めったに人前に姿を現しません。茂みに隠れ、必死に自分の縄張りを守っているんです。ですから、あの美しい求愛の歌は、命がけの“縄張り宣言”でもあるんですよ」そう言ってエルダー君は遠くを見つめた。「僕の国でも縄張りを主張したい大人たちが内戦を繰り返し、多くの命が奪われました。誘拐されて少年兵にされた子どももたくさんいます。銃で領土を争う代わりに、こんなふうに歌で縄張りを伝え合えたなら、どんなにいいでしょう」。



うららかな午後の光の中でエルダー君は黙って涙を拭った。18歳の青年が背負うには、あまりに重い出来事だ。その横顔を見つめながら、彼が試行錯誤している種類（ゆうやく）のことを思い出す。それは、故郷の照りつける太陽に焼かれた大地のような、深く力強いあかね色だ。奪い合うためではなく、誰かを癒やせる器を焼くために、彼は一生懸命に土を練っている。新芽の匂いを含んだ春の風に、もう一度「ホーホケキョ」が響いた。

ナットク! 気になっていたあの言葉

今月の気になっていたあの言葉:【ステーブルコイン】

価格の安定を実現した暗号資産（仮想通貨）のこと。米ドルや日本円などの法定通貨や金の価値と連動させる仕組みで、価格のブレを抑えるように設計することにより世界中で決済手段としての活用が急速に拡大すると期待されている。日本では円建てのステーブルコイン「JPYC」が2025年10月27日より発行開始された。

—弊社のモットー—

私共はあなた様の想いに誠心誠意、奉仕致します。つまり、愚直に、真面目に、地道に、誠実に、謙虚に、スピード感を持ってことにあたります。

株式会社 エルフォルク

〒733-0002
広島市西区楠木町3丁目10-22
TEL: 082-230-8870 FAX: 082-230-8871
<https://www.tent-erfolg.co.jp>